

ゆめ科学ネット 札幌市西区山の手2条5丁目5-28 菅原 陽

実施日 2021年2月7日

コロナ対策 実施各1時間①～④の休憩10分に消毒清掃を実施し、換気は窓を一定の隙間を開けておいた。

プログラム

時程	工作教室 A	工作教室 B	サイエンスショー
① 9:30～10:30	① 15名	① 15名	① 15名
② 10:40～11:40	② 15名	② 15名	② 15名
昼休み 11:40～12:30			
③ 12:30～13:30	③ 15名	③ 15名	③ 15名
④ 13:40～14:40	④ 15名	④ 15名	④ 15名
15:30 終了 後片付け			
16:00 解散			

後援 札幌市教育委員会
日本物理教育学会北海道支部

来場者数 子ども 午前①23 ②24 午後③19 ④12 小計 78
保護者 午前①14 ②12 午後③11 ④10 小計 47
計 125

来場者アンケート

来場者の感想

評価	円グラフ
5 大変おもしろかった	89.3%
4 おもしろかった	10.7%
3 まあまあだった	0.0%
2 すこしくふうがひつよう	0.0%
1 おもしろくなかった	0.0%



一緒に作らせてもらえて楽しかったです。有難うございました。回すコマにすごくはまりました。長い時間興味がつきなかったのでまた実施してほしい。まだやりたいです。楽しかった。子どもたちが普段学べないことが学べるのでとてもありがたいイベントでした。特に折り紙の奴と紫外線が面白かった。実験もあり工作もあり非常に楽しそうに子どもたちが参加させていだきました。おもしろかった。色々な遊びができたので楽しかった。次もやりたいです。ぶんぶんコマ作りが楽しかった。回して遊ぼうが特に面白かった。もっとやりたかった。また遊びたいです。工作が楽しかった。大人も楽しめました。いつも時間が足りないくらい楽しめました。ただ説明がわかりづらいものもあった。紙切りが面白かった。たくさんコーナーがあって自由に行き来できてよかったです。たくさん工作ができてとてもうれしかったです。2回目でしたが子どもが一所懸命色々なものを作っていたのでとても楽しかったのだと思います。私自身も楽しめました。楽しかった。サイエンスショーが面白かった。とても楽しかった。

実施概況

1週間前に教室授業形式で実施した「札幌わくわく科学体験」とくらべて、やはり個別対面型の今回の形式の方が、来場者には歓迎されていると感じた。来場者数は札幌のコロナ自粛要請もあり思ったより多くなかった。新型コロナ対策のためにマスクやフェイスガード、科学ブースには小型遮蔽シートを追加製作し、サイエンスショーでは大きな遮蔽シートを吊り下げて実施した。募集は山の手小学校と山の手南小学校に協力していただき児童一人一人にチラシが配布され、ほとんどの申込は数日で返信がありチラシ宣伝の効果はあった。また、別企画の「科学の日」のチラシ配布の効果もあった。チラシにQRコードを印刷しwebアンケートに答える形で募集したので、個々の家庭と連絡が取れ来場時間の調整ができた。アンケートの結果も良好であった。事故もなくこの企画が成功裏に終わることができたのは協力スタッフと他のイベント企画（科学の日）からの応援のおかげである。



3 D 右目画像と左目画像の説明



光の三原色（色を重ねる実験です）



色の三原色（透明シートを重ねます）



水の実験参加者の予想を聞いてます。



水の実験 結果を参加者と確認



空気の実験 ビーチボールが浮く

写真資料 科学工作ブース



モアレの秘密（モアレ模様が動きます）



LED ライトを作ろう(赤青緑白のライト)



ぶんぶんコマ（穴あけは手動ドリル）



コマで遊ぼう（多種類のコマの体験）



右手前 A4紙コマ



ブラックライトと紫外線ビーズ



錯覚の世界（マジックの仕組み）



（ビニールチューブと竹の割箸で）笛作り



備長炭電池でマブチモーターを回す



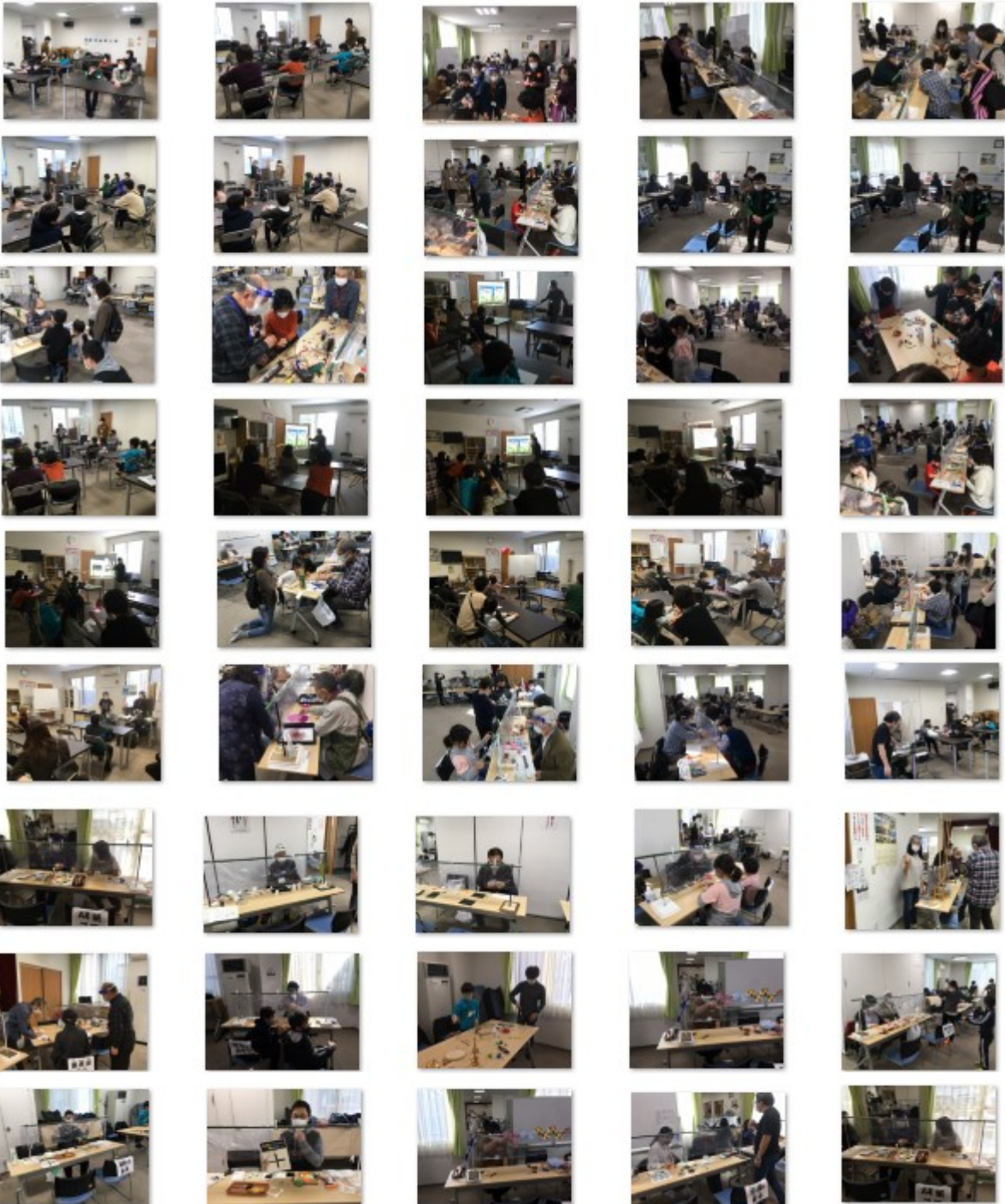
切り紙（対称性の不思議）



音スペクトルアナライザー 超音波



ペットボトルで竜巻を見よう



その他 個々の写真と全体の様子